「子供たちを船上で学ばせる意義」

２００７年５月２０日、国土交通省 近畿地方整備局
神戸港湾事務所は、ＮＰＯ法人近畿みなとの達人、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター、神戸市みなと総局との共催で生涯学習講座が開催されました、そのおりに、井上欣三名誉教授は、うみ・ふね・みなとシリーズの第一回の講師として招かれ、「フローティングスクールの取り組み」をテーマに、子供たちを船上で学ばせる意義について講演されました。

その講演内容が「子供たちを船上で学ばせる意義」と題してとりまとめられていることがわかり、遅ればせながらここに掲載します。

講演のとりまとめ

- 【2007．5．20井上先生最終原稿】

講演時に使用されたスライド

- 【うみ・ふね・みなと講演 pier6】

講演時に配布された資料

- 【JIN50周年シンポジウム報告】